



平成 20 年 4 月 11 日

各 位

会社名 シンワオックス株式会社  
代表者名：代表取締役社長 今田 輝幸  
(コード番号 2654 大証第二部)  
問合せ先：取締役経営企画室室長 松浦公司  
(TEL 06-6683-3101)

### 今後の事業展開および第三者割当増資に係る資金使途について

平成 20 年 4 月 10 日、「第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ」を公表いたしました。それに係る具体的な資金使途について、当社の今後の方向性を踏まえ、下記のとおりご説明いたします。

### 記

当社は、平成 20 年 4 月 10 日開催の取締役会において、第三者割当により発行される株式の募集をおこなうことについて決議し、1,750 百万円の資金調達をする予定であります。

今般、上記の方法により調達する資金の具体的な使途について、当社の今後の事業展開等を踏まえ、より詳細にご説明をさせていただきます。

#### 1. 将来的な収益確保のための投資および当社の事業展開について

##### (1) 事業基盤の強化

外食事業において、前期第三四半期決算の際にお知らせしたとおり、営業利益率の改善により、収益改善が図られております。

当社は、関西地区を中心に多業態店舗を展開してまいりましたが、そこで培ったノウハウを生かし、新規出店およびリニューアルを実施し、営業拠点を増加させることで、事業基盤をより強固なものにしてまいります。

上記に係る費用として、約 250 百万を充当する予定であります。

##### (2) 新たな事業軸の開拓

当社のもつ各事業（卸売事業、外食事業、ホテル事業、ブライダル事業）において、経営資源を相互に活用でき、シナジーを生み出せる先と積極的なアライアンスおよびM&Aを検討、実施することで、新たな事業軸の開拓をおこない、収益の拡大を目指してまいります。

上記に係る費用として、約 200 百万を充当する予定であります。

### (3) 新たなビジネスモデルの構築

ホテル事業においては、独自スタイルの訴求による認知度の上昇に伴い、宿泊をはじめ、宴会、婚礼の利用者が増加しており、ホテル事業単体での黒字化が見込めております。

同事業においては、堂島ホテルのリニューアルを経て、収益モデルを構築してまいりましたが、今後においては、受託産業への参入および事業アライアンス等を視野に入れ、収益機会の拡大を目指してまいります。

また、卸売事業においては、前期より販売政策を変更し、粗利益率の改善を図ってまいりました。その結果、より効率的なビジネスモデルへと転換させつつありますが、収益機会を増大させるためには、食品加工等の設備投資は不可欠であり、それを実施することで、成長の基盤を構築してまいります。

また、前述のとおり外食店舗のブランドを生かした商品を開発し、ネット販売等を実施しておりますが、今後におきましては、BtoBを視野に入れた商品の開発、販売をおこない新たなビジネスモデルを構築してまいります。

上記に係る費用として、約100百万を充当する予定であります。

## 2. 財務体質の強化のための有利子負債の圧縮および運転資金の充当について

当社は、外食店舗のブランドを生かした商品の開発、販売をはじめ、肥育事業や当社が香港にもつグループ会社を通じて、中国マーケットへの食肉の輸出に着手するなど、新たな事業軸の開拓に向け積極的に取り組んでおります。

今般調達する資金は、上記事業に関わる仕入れ、研究・開発等にかかる費用として充当することで、安定事業への早期化を促進し、収益幅を拡大させてまいります。

また、グループ全体の外食店舗における一括仕入れによるコスト削減および、国内外の生産者、仕入ルートの開拓に注力することにより、外食店舗、ホテル等への安定供給および食材原価の圧縮が可能となり、よりクオリティの高い営業が望めます。

ほか、当該資金を有利子負債の圧縮に充当することにより、総資産利益率を高めるとともに財務基盤を強化してまいります。

上記のとおり、積極的な運転資金として700百万円を充当するとともに、500百万円を有利子負債の圧縮に使用し、積極的に財務体質の改善に努めてまいります。

以上